

ふれあい情報

2023年6月19日 (月) 第365号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



連合会館3階会議室 挨拶する人見会長

日本退職者連合 第6回幹事会を開催

6月14日(水) 退職者連合は第6回幹事会を開催し、第27期総会(7月19日開催予定)の運動方針、予算、政策・制度要求の原案を決定しました。また、2023年度の全国高齢者集会を9月19日(火)に響きの森文京公会堂(文京シビックホール)で開催することを決定しました。

人見会長あいさつ



通常国会は6月21日に会期末を迎えますが、この間、

問題のある法案が次々と成立しました。防衛産業強化法は、日本の防衛産業を守るために、いざという時には国営でやるという法です。27年度までに43兆円の防衛予算を確保するというこれも閣議決定されています。法人税所得税、たばこ税の3税を引き上げて財源を確保するとしているので、「増税ありき」という方針です。

また、昨日、岸田首相は少

子化対策に3兆円以上を確保して集中期間3年間で実施すると表明しています。しかし財源は明確になっていません。風呂敷を広げていますが、実効性は見えてこない状態です。解散総選挙目当てというのが大方の見方だと思います。

最近の政党支持率を見ると、自民に次いで2番目に維新が入っており、このまま選挙になれば、野党第一党が維新になりかねない状況です。そういう中で、連合の役割は非常に重要です。立憲、国民の支持母体として力を発揮すれば、立憲が第一党として活躍できると考えます。連合

が日本の政治を変えていく、そういう役割を果たしていただきたいと思えます。選挙になれば、私たちは連合推薦候補を一体となつて取り組んでいきたいと思えます。

日本の政治を変え、私たちが重視する年金・介護・医療の社会保障を充実させる、政策制度要求を実現するためにも、立憲・国民の勝利は欠かせません。皆さんのご協力をお願いします。

連合からの報告

宮腰雅仁 組織企画局長

統一地方選では、立憲・国民との調整が難しいという地方の声がありました。人がいない、投票率が低いという問題もあり、今後の大きな課題です。衆議院選挙に対しては基本方針を定め、候補の活動状況を検証しながら、維新が野党第一党にならないよう取り組みます。

10月5〜6日の大会に向け、次期は4つの改革パッケージの3期目であることを意識しながら方針策定を行っています。

その大きな柱である中央会費制度については、作業部会の最終方針が出されました。長年の課題である地方連合会の会費単価の違いを統一し、本部に納入した上で各地方に交付金として交付することになります。今、地方



報告する宮腰局長

連合会への説明を行っているところです。

ブロックからの報告

北海道ブロック

5月24日に道立女性プラザの笹谷春美館長を講師に招いてジェンダー平等推進委員会・ジェンダー平等ネットワーク会議の合同学習会を実施しました。参加者は16名でした。

東北ブロック

一昨日12日に、福島で4年ぶりの第28回定期総会を開催し、方針・予算、意見交換を行いました。今後活動を進めていきたいと思えます。幹事県が山形に代わります。

東海ブロック

5月8日にはじめて事務局長会議を開催しました。今後は複数回開催して、ブロックで共通する政策課題に取り組みなど新年度以降検討する予定です。今月25〜26日に総会的な意味あいの協議会を静岡で開催します。幹事は静岡に代わる予定です。

近畿ブロック

明日、事務局長会議を開催して今後の日程等を確認する予定なので、次回報告したいと思えます。

中国ブロック

各県とも、スポーツ交流や政策制度要求に動き始めたところ。山口は、役員任せでなく、各組織の特性を生かした要求を出すよう呼びかけ、8組織・個人から20件程度の要望が出されました。

鳥取は地区組織がしっかりしており、交渉には知事が出てきます。要求の取りまとめは中央のものを軸に追加し、各地区はさらに地区の課題を追加しています。また、立憲の県組織と幹事会全員との対話を実現しています。岡山からは、高齢者集会のネーミングについて提起がありました。

四国ブロック

6月1日に3年ぶりのブロック幹事会を開催し、今後のブロックの活動について改めて確認しました。

九州ブロック

前回の幹事会以降、具体的な取り組みはないので報告はありません。6月15日、福岡で100名規模の高齢者集会を開催予定です。

ブロックとしては7月4〜5日に代表者会議を開催し、ジェンダー平等および退職者連合第27回総会の方針について意見交換の予定です。ブロックとしてまとめれば、意見提起をしていきたいと思えます。

今後の日程

- 7月18日(火) 全国組織代表者会議**
13:30 連合会館 201 会議室
- 7月19日(水) 第27回定期総会**
9:30 連合会館 2階大会議室
- 9月19日(火) 全国高齢者集会**
13:00 響きの森文京公会堂

沖縄県退職者連合

初の「ジェンダー平等学習会」を開催！

「ジェンダー平等で生きやすい社会へ」をテーマに

5月18日(木)、沖縄県退職者連合は初の「ジェンダー平等学習会」を開催し、日本退職者連合の野田那智子事務局長に「ジェンダー平等で生きやすい社会へ」をテーマに講演いただきました。加盟組織から女性18名、男性20名が参加しました。

ジェンダー平等とは一体何なのか、私たちの身近に起こっているジェンダー平等の問題・課題について興味深いお話をいただきました。例えば、年金の男女差による生活苦などは切実な課題です。男性ばかりの退職者連合では、運動方針案にジェンダー



平等が明記されているが、やっと地方退連でも積極的に取り組んできているとの報告がありました。

私達、高齢者の暮らしも大きく変わってきました。一人暮らし世帯が4割、高齢者の貧困率は4人に1人という現状報告もありました。

講演後、野田事務局長との懇親会を行い、沖退連では今後ジェンダー平等の取り組みをより充実させていくことを確認いたしました。

(沖縄退連からご寄稿いただきました)